



遠野東中学校総合消防訓練

秋の全国火災予防運動期間中の11月9日(木)、遠野東中学校で消防本部と合同による総合消防訓練が実施されました。

この訓練は、地震後の火災発生を想定して実施されたもので、生徒たちのシェイクアウト訓練、避難訓練に合わせ、消防隊の消防車両による放水訓練や、校舎内2階に取り残された逃げ遅れ者を梯子を使って救助する訓練が行われました。また、遠野市で今年度導入したドローンによる上空偵察訓練なども行われました。

生徒たちは実際の災害時に行われる活動の様子を真剣に見つめ、災害時の行動について再確認しながら、火災予防の大切さについて学んでいました。



災害時の行動について学ぶ生徒たち



火災防御訓練の様子



火災防御訓練の様子

令和5年度緊急消防援助隊北海道・東北ブロック訓練

11月18日(土)から19日(日)にかけて、大規模災害を想定した令和5年度緊急消防援助隊北海道・東北ブロック訓練が、宮古市を主会場に行われました。

この訓練は、北海道と新潟県を含む東北7県の持ち回りで毎年実施されているもので、8年ぶりに岩手県で開催されました。

遠野市消防本部からは5名の消防隊員が訓練に参加し、18日は宮古市田老で「野営訓練」に臨み、災害地での宿営について確認しました。19日は宮古湾藤原ふ頭周辺で「土砂災害救助救出訓練」に参加し、土砂の中から救出された多くの傷病者を他消防本部と連携して搬送しました。

その他にも、情報を統括する「本部運営訓練」や、関係機関によって、活動隊員を支援するための「後方支援活動訓練」などが行われ、消防や警察、自衛隊以外の様々な機関が訓練に参加し、有事の際の連携の仕方について確認しました。

